

かしましゅうとしょかん 鹿島小図書館だより 2021年

ねん 2021年
かつごう 1月号

～あけましておめでとうございます～

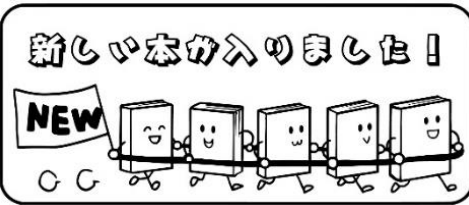
今年もよろしくお願ひいたします。

2021年(ねん)がスタートしました!

みなさんは今年(ことし)1年間の目標(ねんかん)はたてましたか?

読書(どくしょ)でも、ぜひ自分の目標(じぶん)をたててみましょう。

3学期(がつき)も図書館(としょかん)にたくさん来てくださいね。



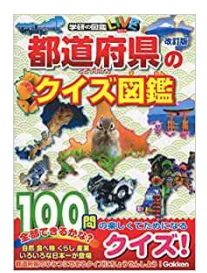
こたつ
あそうともこ
麻生知子//作



かいけつゾロリ
ぎょうふのエイリアン
はら ゆたか//作



こぎつねボック
いまむらあしこ//作



都道府県のクイズ図鑑
学研プラス//発行



幽霊心霊現象
大図鑑DX
イリサワ マコト//著



ロード
やまぐち さとし//作



昔(むかし)から木の枝(えだ)などには、神様(かみさま)がやどると考(かんが)えられて
ていました。そこから、家族(かぞく)の健康(けんこう)を守り、豊作(ほうさく)をあ
たえてくれる年神様(としがみさま)が、山(やま)からおりてくる目印(めじるし)
のように、家(いえ)の門口(かどぐち)に松(まつ)や竹(たけ)をかざるようになりました。
門松(かどまつ)の松(まつ)には、「神様(かみさま)をまつ」という思(おも)いもこめられて
いたようです。



今年(ことし)の干支(えと)は、「丑(うし)」。十二支(じゅうにし)の2番目(ばんめ)の年(とし)ですね。

十二支(じゅうにし)とは、昔(むかし)の中国(ちゅうごく)で定められた暦(さだ)の数え方(かぞ)です。

日本(にほん)では、十世紀(じゅうせい)初め(はじ)ごろから、時間(じかん)や方位(ほうい)をあらわす

ものとして十二種類(じゅうにしるい)の動物(どうぶつ)が使(つか)われてきました。

今(いま)も、生(う)まれ年(とし)や年賀状(ねんがじょう)などで親(した)しまれていますね。

さて、どんな動物(どうぶつ)が十二支(じゅうにし)にいるか、みなさん全部(ぜんぶ)わかり

ますか?

十二支(じゅうにし)について書(か)かれた本(ほん)が図書館(としょかん)にあります。

ぜひ、読(よ)んでみてください。



レイワ怪談 十六夜の章
ありがとうあみ //著



手作りのポップアップ
カードBOOK
鈴木 孝美 //著



5分後に
不思議の国のラスト
エブリスタ //編



小学館の図鑑NEO
昆虫2
小学館//発行



こんくんのおんがく
はっぴょうかい
たしろ ちさと//作

ほかにもぞくぞく入荷中!
図書館新着コーナーをみにきてね♡

図書館のお休みの日 1月
1/21 (木)
1/26 (火)



借りたままで
返していない
本はありませんか?

1/8・12までに借りている本は全部返しましょう!
貸出しは1/13から始まります♪

